

八王子中町プロジェクト

八王子市中町を対象とした花街の雰囲気の回生及び活性化に向けた活動支援

活動地域

東京都八王子市中町

活動キーワード

中心市街地 # 花街 # 黒塀
柳 # 石畳

活動期間

2011年～継続中

所属メンバー

M2 斎藤桃乃
B4 金田拓巳
B3 秋山太一 貝沼杏優 國井一誠
鈴置将斗

活動体制

工学院大学野澤研究室
八王子市まちなみ整備部
まちなみ景観課・市街地活性化
一般社団法人八王子市まちづくり公社

八王子市中町地区まちづくり協議会
まちづくりアドバイザー
東京都立大学川原研究室
桜美林大学尾川研究室



プロジェクト概要

明治30年の大火をきっかけに花街が集約した「中町」では、織物業とともに花街文化も発達し、大正末期には150名ほどの芸妓数を誇っていた。一時は織物業の衰退とともに料亭や芸妓の数は減少したが、かつての花街の情緒を回生しようという気運が高まっている。これに伴い、当プロジェクト及び中町まちづくり協議会においては、暮らしに歴史と文化の薫るまちづくりを目指し日々活動している。



活動経緯

本研究活動は本校が所在する東京都八王子市の、歴史的資産である花街文化の継承と活性化を目的として活動している。八王子市では平成18年度の施行された八王子市地区まちづくり推進条例にて、中町地区を対象に地区まちづくり協議会を発足した。野澤研究室としては、まちづくり学科の学生という立場から、研究活動や協議会への提案を行い、地域住民と共に花街の活性化に向けた活動を行っている。



これまでの活動

- 2012 【花街のデザインを取り入れた活動】
2017 黒塀を活かした駐車場のフェンスを改装するプロジェクトや散策マップの作成、違法駐輪対策を実施。空き地活用したイベントを開催。
- 2018 【花街文化周知活動・花街文化継承】
2022 2016年に作成した花街散策マップを更新し配布。芸妓数と連携し、花街文化イベント実施。
- 2023 【花街らしい景観づくり】
4年ぶりの八王子まつりに参加し、かき氷や手ぬぐいを販売。都立大や桜美林大と協力し、黒塀を彩る活動に参加した。
- 2024 【景観整備・企画具体化】
補助金を用いた設備の整備。路地街サミット開催に向けた議論を行った。

活動の様子



今年度の活動内容

今年度は、街並みを整備して、より周知してもらえるよう活動をした。コロナ渦が開けて2年連続となる八王子まつりへの参加や街の中心地となっている桑都テラスへの誘導サインなどこれらの行事を通して、より一層中町の魅力を伝えることができた。

八王子まつりへの参加

中町町会テントにてグッズ販売を行った。町会オリジナルとして手ぬぐい・扇子、協議会オリジナルとして手ぬぐい・うちわが販売された。協議会オリジナルでは、祭りで実際に着用されている中町の半纏デザインに従った手ぬぐいであり、デザインは学生が考案した。手ぬぐいでは、40枚程度売り上げた。販売作業を行っていく中で、他大学の学生をはじめ、地域の方々やお客様の方々など多くの人と関わる機会となった。



補助金を利用した整備

みどりの植栽「はなはこ」・桑都テラスへの誘導サインを設置した。みどりの植栽では野澤研究室が照明の提案を行った。誘導サインのパターンデザインとして桑小紋を採用した。それらにより、花街の風景を創り出すことができた。



路地街サミット参加準備

路地街サミット開催に向けた議論を行った。2025年11月に中町にて「路地街サミット」を開催する。イベント実施内容として、講演会とまちあるきツアーなどを検討している。八王子花街をたくさんの人に周知して貰えるような魅力的なプランが考えられている。



来年度の活動予定

【新たな中町の景観】

シャッターペイント第3弾を行う予定だ。旧待屋のパブのシャッターに散策マップキャラがペイントされる。地域の情報を発信し、散策が楽しくなり、利用者が親しみを感じやすくなる。

